

政務活動費支出簿

経費の範囲の項目	調査研究費
----------	-------

領収書 No	支出年月日	内 容	金 額	備 考
④	2023年5月19日	仙台福島視察旅費 (5/23~25 3名)	134,100	JR綾部/いわき⇒仙台/綾部 プラスツーリスト(株)
		合 計	134,100	

令和 5 年 5 月 29 日

綾部市議会議長 様

会派名 日本共産党綾部市会議員団  
代表者氏名 団長 井 田 佳代子

### 研究研修・調査報告書

研究研修・調査をしました結果を下記のとおり報告します。

#### 記

1 日 程	令和 5 年 5 月 23 日 (火) ~ 5 月 25 日 (木)
2 行 先	宮城県仙台市、福島県南相馬市方面
3 目 的	原発災害、災害復興について現地視察
4 内 容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 仙台市震災遺構、被災地復興調査</li><li>・ 南相馬市議と原発事故 12 年後の現状懇談</li></ul>
5 支出経費の内訳と金額	旅費 134,100 綾部/いわき⇒仙台/綾部
6 参加議員名	井田佳代子、吉崎篤子、塚崎泰史
7 活動成果の概要、所見	別紙
8 成果物資料等	

令和5年5月22日

綾部市議会議長 様

会派名 日本共産党綾部市会議員団  
代表者氏名 団長 井田 佳代子

### 研究研修・調査計画書

下記のとおり計画しましたので届け出ます。

#### 記

1 日 程	令和5年5月23日(火)～5月25日(木)
2 行 先	宮城県仙台市、福島県南相馬市方面
3 目 的	原発災害、災害復興について現地視察
4 内 容	・仙台市震災遺構、被災地復興調査 ・南相馬市議と原発事故12年後の現状懇談
5 概算経費	旅費 134,100 綾部/いわき⇒仙台/綾部
6 参加議員名	井田佳代子、吉崎篤子、塚崎泰史
7 参考資料等	

東日本大震災・原発事故から12年 2023.05.23~25

仙台・福島視察レポート

岸田政権が、福島原発事故がなかったかのように原発に回帰する動きの中、福島の地に行き原点に立ち返ることが大切だと思い、5月23日~25日、宮城県仙台市若林区の荒浜地区、原発事故の被害がいまも続く福島県双葉町・大熊町・南相馬市などを現地視察しました。

原発立地の双葉町へ。「崩れた家屋の街並み」の中に「新設の建造物」が点在する町の風景  
○休校中の学校、荒廃した家屋・店舗・病院。人通りも除染などの関係者以外はなかった。福島第一原発事故から12年が経つものの、福島県全体で故郷に戻っていない人が少なくとも約5万人います。また、未来を担う小中学生が極端に減少しています。帰郷したくてもできない人々を多数生み出したのが原発事故です。その象徴ともいえる原発立地自治体の双葉町へ、私たちは向かいました。現地を歩くと、12年前と同様に立ち入り禁止の帰還困難区域がある一方で、新設されたJR双葉駅や双葉町役場などが目立ち、新旧混在した風景でした。2023年から帰還困難区域が一部解除される地域ができたことに伴い、12年前の状態から復興に動き出したものと思われます。しかし、全体として原発事故による長期避難によって家は荒廃し、解体を余儀なくされることも多く、帰郷して暮らしを再建する見通しが立たない状況です。

突如中心地の駅前に広がる新設の建造物。でも人の息遣い感じられず

帰還困難区域看板や荒廃した家屋やお店・病院や学校を通り過ぎ、中心地の双葉駅前に到着。突然別世界が広がりました。昨年新たに建設した双葉町役場新庁舎、開通しリニューアルされた双葉駅舎がありました。駅にはイベント開催が目的で他府県から来た若者以外は、人っ子一人いませんでした。特急電車が止まるようになったそうですが駅で降りる人もいませんでした。

放射線量高く、事故後10年経っても故郷に戻れない。居住者ゼロからのまちづくり進める双葉町

(「この先帰還困難区域につき通行止め」看板。鉄柵バリケードが張られている。休校のままの県立双葉高校。通学用と察する自転車が双葉駅横の自転車置き場に残されたまま。錆が酷く運転不可か。)

駅の真正面には「双葉町役場」と書かれた立派な庁舎が。きっと町職員と町議会が復興の様々な困難に挑まれているはずだと思い、令和3年度作成の「双葉町総合戦略第二期」をもとにちょっと調べてみました。双葉町は、昨年まで居住者はゼロの町でした。現在は約50人が町内居住しているそうです。町が住民に行った帰還意向調査では「戻らないと決めている」との回答が62%と最多で「戻りたい」との回答は10.8%。若年化するほど「戻らない」との回答が増えています。令和18年(2036年)までに掲げる居住人口の目標2000人には到達しないことを予想されています。原発事故時(2011年3月)の住民登録状況が7140人であったことからすると、多くても事故前の3割にも満たない居住人口までしか回復しません。「原発事故さえなかったら…」の思いは皆同じでしょう。大変な困難な中、復興に日夜奮闘されている町職員・町議会の方々に頭が下がる思いになりました。

(昨年8月から業務を開始した双葉町役場。しかし、今も茨城県や埼玉県など5ヶ所に支所や連絡所がある。)

脱原発で再生可能エネルギーへの転換こそ、フクシマの教訓いかす道

先日岸田政権は、原発を新たにつくってもよい、老朽原発を70年超えて動かしてもよい法律を強行成立させました。しかし原発事故は、まちづくりを根底から脅かし、再生の見通しの立たない困難をもたらします。福島県では、全ての地方議会で原発廃炉の意見書が上がりました。全国初です。人類と原発は共存できないことをフクシマは教えています。この声に応えることを痛切に感じ、現地を後にしました。

宝鏡寺に咲く綾部ゆかりの「アンネのバラ」

ヒロシマ・ナガサキ・ピニニ・フクシマを結ぶ「非核の火」が灯る檜葉町・宝鏡寺(福島第一原発から20キロ圏内)には、綾部市の山室建治氏および立命館大学国政平和ミュージアムが提供したアンネのバラが見頃でした。



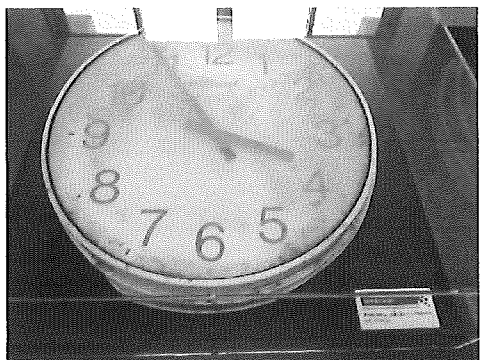
震災遺構 請戸小学校 教室の窓からすぐそこに見える福島第一原発



津波は青い看板の高さまで到達した。暫定津波高 15.5m

### 震災遺構仙台市立荒浜小学校

津波のあとを残し、遺構として残された。生徒や先生が学校屋上からヘリで救助された。



15時55分、被災した体育館の時計。



「荒浜記憶の鐘」手前の丸い石から塔まで

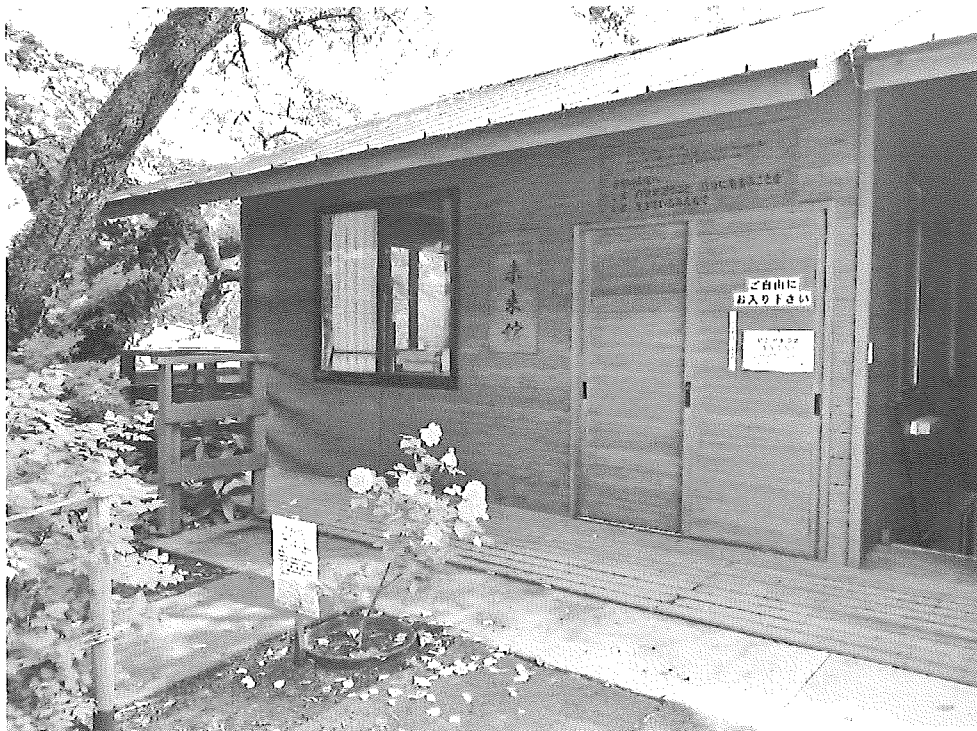
13.7m、津波高さと同じ。巨大な津波を忘れないという思いが込められている。



荒浜小学校で展示されていた、福島原発の爆発を伝える新聞



常磐道 双葉町から大熊町 車内の線量計。1.011  $\mu$  Sv。道路標示ではこの間で 2.0  $\mu$  Sv。



綾部市の山室さんから立命館大学へ寄贈されたアンネのバラが、宝鏡寺の庭に寄贈され花を咲かせていた。

2023年05月19日

日本共産党綾部市会議員団 御中

PT  
PLUS-TOURIST

プラスツーリスト株式会社

本社

〒623-0052

京都府綾部市幸通り11番地

TEL:0773-42-2055 FAX:0773-42-2044

京都府知事登録旅行業 第2-588号

## 請求書

この度は弊社へお申し込み頂き、有難うございます。  
下記の通りご請求致します。

合計金額	¥245,100	入金額	¥245,100	請求金額	¥0
------	----------	-----	----------	------	----

出発日: 2023/05/23 日数: 2泊3日 お問合せ番号: 9847

商品名	販売単価	数	販売金額	備考
JR券代金	44,700	3	134,100	綾部/いわき ⇒ 仙台/綾部
宿泊代	8,600	3	25,800	ルートイン仙台東口 禁煙SQL 朝食付
宿泊代	10,900	3	32,700	ホテル丸屋グランデ 禁煙SQL 朝食付
レンタカー代	49,200	1	49,200	3日間 仙台駅前 ⇒ いわき十五丁目 WA無指
旅行業務取扱料金	1,100	3	3,300	

振込先金融機関名 支店名 口座 口座番号 口座名義人

恐れ入りますが、振込手数料はお客様にてご負担願います。  
ご不明な点等御座いましたら、担当者までご連絡ください。



④

領 収 書 日本共産党経部中会議員用 様 No. 4092

金額

¥ 2 4 5 1 0 0 -

内 訳

---

現 金

---

小切手 /

---

振 込 /

---

消費税額等 ( % )

---

但 5/23~25 初察代金として  
 2023年5月19日 上記正に領収いたしました



**PT** プラス・ツーリスト株式会社  
 PLUS-TOURIST

〒623-0052 京都府綾部市幸通り11番地  
 TEL 0773-443055 FAX 0773-42-2044

JR 経部 ↔ 仙 44,700 × 3 = 134,100